

国保中央病院を拠点とした地域間アクセス向上事業について（目的）

令和2年度に策定した「広陵元気号及びシャトルバス運行再編計画」に基づき、令和3年10月1日から、従来の田原本町（田原本駅）を含む、広陵町、三宅町及び川西町において実証運行による広域運行を実施。シャトルバスの利用実態や病院利用者のニーズを把握し、広域運行の実現可能性を探ることとし、評価指標を基に本格運行に移行するかどうかを検討するもの。

実証運行にかかる評価指標について

・評価指標①新設バス停月別利用者数

広域運行のニーズを実数として把握

指標名	実績値
新設バス停の利用者数	3町合計 164人 (病院行き：110人、各町行き：54人)

・評価指標③来院者数に占める無料送迎バス利用者（職員、その他利用除く）（基準：前年同月）

広域運行による交通利便性向上を図る指標として来院患者に占めるバス利用者数を把握

指標名	目標値 (R2)	実績値 (R3)
来院者数に占めるバス利用者数割合 (職員、その他利用除く)	6.9% (10~3月)	6.2% (10~3月)

・評価指標②広域運行前後の利用者数（基準値：前年同月）

広域運行による交通利便性向上を図る指標として広域運行開始前後の利用者の推移を把握

指標名	目標値 (R2)	実績値 (R3)
広域運行前後の1便あたりの利用人数	1.3人 (10月~3月)	0.3人 (10月~3月)

・評価指標④参考：来院者数

公共交通利用については新型コロナウイルス感染症等、社会情勢等に大きく影響を受けるため参考値として来院患者数を把握

指標名	目標 (R2)	実績値 (R3)
来院者数 (参考値)	29,310人 (10月~3月)	29,558人 (10月~3月)

分析結果

- ・広域運行による利用（川西、三宅、広陵）は一定数あったものの、継続の基準となる**目標値を上回っていない**。
- ・広域運行開始後、利用増が見られた時間帯もあるが、**無料送迎バス利用者の総数**は前年度から**2割程度減少**している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で無料送迎バス利用にも影響が出ており、正確な利用ニーズが把握できない。

今後の国保中央病院へのアクセスについて

- ・国保中央病院無料送迎バスの広域運行について、**実証運行終了後(令和4年7月以降)**は廃止し、**田原本駅⇄国保中央病院の運行**とする。
- ・引き続き、**国保中央病院へのアクセス向上のため**、他の方策について、**国保中央病院を含む構成4町で検討**する。